

『競技要項』 補足と解釈について

■ユニフォーム規程の解釈について

5. チームネーム

- (1) ジャージ (シャツ) の胸部もしくは背部に、JVAに届け出たチーム名またはチームを特定できる略称のいずれかを付けなければならない。サイズは規定しない。また、チームのシンボル・マーク (社章・校章・略号) も付けてもよい。
- (2) ジャージ (シャツ) の袖に (袖が無い場合には背面襟下に) 所属する都道府県名を付けてもよい。なお都道府県名はチーム名より小さい (高さが低い) こと。

語句	解釈・補足
JVAに届け出た正式なチームネーム	MRSに登録している正式名称
チームの略称	MRSに登録する欄はありません 正式名称の略称であり、チームを特定できる
チームのシンボル・マーク	都道府県のマークやスローガンなどについて不可

【不適切な例】

正式なチーム名 ・・・東京電機アタッカーズ

チームの略称 ・・・TOKYO →ユニフォーム背部に大きく付けている

※チームニックネームが正式なチームネームと結びつきにくく不適切である。

また、TOKYO=(東京)は都道府県名であるので、袖や背面襟下につけることが原則。なお、都道府県名の大きさについてはチーム名より小さいこと。

チーム名の装飾 ・・・ユニフォームのチーム名の装飾やイラスト等による飾り付け

【例外】

高校チームの「〇〇学園 △△高等学校」については、胸部または背部に「△△」、また一方に「〇〇学園」という表記は高体連の取り扱いで認められています。

11. アンダーウェア等について

- ・アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。
- ・医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険がある場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
- ・明らかに色が違う腰に帯状にまくサポーター、コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。

アンダーウェア等についての運用は、規定通りに取り扱います。(2013. 7. 23 配信済)

ただし、丸首のアンダーウェアでユニフォームからはみ出していなければ、Vネック等で襟元から見える状況は可としてください。たとえチーム全員が揃っていてもハイネックで襟からはみ出していたり、袖から出ているようなものについては認められません。

12. ベンチスタッフの服装

- (1) ベンチスタッフは、ジャケットを着用するか、統一された服装でなければならない。
- (2) 部長や監督がジャケットを着用し、その他のベンチスタッフが統一された服装であれば許可される。
- (3) 原則として、統一された服装で、襟付きのものを着用すること。Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されない。
- (4) ベンチスタッフの着用する服装には最大5×4cmまたは20cm²のマニファクチャーロゴを付けることができる。
- (5) スポンサー広告については、選手の広告規程と同等な扱いとする。

「JVA 競技会におけるチーム役員の服装は、上記の通り規定していますが、**プレイヤー兼任の監督及び公認メーカー**については、次の通りと致します。

① プレイヤー兼任の監督

- ・ベンチでは、記録席に一番近い席に座る。ウォームアップエリアにいることも許される。
- ・監督マークは、ユニフォームに直接つけるか、着脱しやすいビブス、ポロシャツ、Tシャツ等に必ずつける。(左胸部が望ましいが、見やすい位置であれば特に制限しない)
- ・他のスタッフについては、上記枠内のチーム役員の服装でなければならない。
- ・ユニフォームの上に、ジャケットや統一したスタッフのウェアを着用することももちろん認められる。

② 公認メーカー以外のウェアを着用している場合

- ・ベンチ入りは認めるが、今後は選手同様、公認メーカー製のウェアの着用をお願いする。

■ 参加資格について

JVA主催全国大会に参加するチームのベンチスタッフも、JVAメンバー登録することが必要となる。スタッフは「選手」または「チームスタッフ」としてMRSにより登録をする。

「選手」として登録しているメンバーはベンチスタッフと選手を兼ねることができるが、「チームスタッフ」として登録した場合、選手としてコート上に立つことはできない。

ベンチスタッフは、部長・トレーナーも含め全員がMRSによる登録が行われており、チーム加入選手一覧に記載されていること。なお、部長は「チームスタッフ」として登録すること。

【補足1】社会人大会の参加資格（2017年度からの取り扱い）について

黒鷲旗、9人制実業団、クラブカップの各大会にチーム及び個人として出場した場合、社会人大会への出場（大会参加申込みをした時点で出場とみなす）は認められないが、大会参加申込みでベンチスタッフとして登録して出場した場合のみ、社会人大会に別のチームから選手としてもスタッフとしても出場できます。

【補足2】全日本9人制総合の参加資格について

参加資格に制限事項はないので、Vリーグ機構に所属するチームの選手であっても出場することは可能です。ただし、V機構所属の選手は「退団もしくは特別許可がなければVの大会以外には出場できない」とする規定があるので確認が必要となります。

■抽選の原則について

(3)トーナメント戦の場合は、同一都道府県から2チーム以上参加しているときは、それらのチームを次のようなゾーンに分ける。

2チームのとき 2分の1ゾーン

3～4チームのとき 4分の1ゾーン

5～8チームのとき 8分の1ゾーン（左：右が平等化するように配慮する。）

9チーム以上のとき 16分の1ゾーン（左：右が平等化するように配慮する。）

例：5チームのとき、8分の1ゾーンに分けるが、左：右が平等化するように配慮しつつ、4分の1ゾーンに均等に入るように配慮する。

■大会運営について

※下記内容については、各委員長との打ち合わせで決定し、大会関係者に周知徹底の上、運用頂きますようお願い致します。

(1) 気温が高いときの大会運営について

条件をより良くする為に、大会実行委員会等で協議のうえ、特例的に下記運用方法を採用することもできます。

なお採用の場合は、代表者会議等でチーム関係者及び大会関係者に周知を図ってください。

① 給水の為のタイムアウト適用

- ・各セット13点または11点で給水の為のタイムアウトを採用することができる。
- ・時間は30秒から90秒の間を基本とし、会場条件等により設定してください。
- ・給水、汗を拭くなどの行為を最優先する。

② 試合間について、余裕をもって長めに取り、館内換気に努める。

③ 体育館の空調が使用できる場合はなるべく使用する。

- ・複数会場で、一部の体育館で空調がない場合でも、空調が使用できる体育館では使用する。悪い条件に合わせる必要はない。

④ ベンチスタッフの服装については、原則として、統一された服装で、襟付きのものを着用すること。~~Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されないが、~~気温が高く、熱中症等が懸念される場合は、実行委員会の判断により緩和することができる。 (シャツについては、襟の有無では判断しない。(ランニングシャツ等は不可))

チームの大会参加をやすくするための緩和です。Tシャツの色は問いませんが、プレーヤーのユニフォームに表記しているような項目に限る。(チーム名、チーム略称、都道府県名、チームロゴ、メーカーロゴのみ)

写真デザインやキャッチコピー、チームに関連のない用語、デザインは認められない。

(2) 大会中止における大会経費及び宿泊費等の取り扱いについて

① 大会経費の取り扱い

- ・大会経費の負担については、JVA・開催地バレーボール協会・当該加盟団体で協議する。

② 交通費・宿泊費の取り扱い (ただし旅行者を入れている大会については、その旅行者の約款による)

- ・交通費・宿泊費については返金しない。

(3) 有資格者の取り扱いについて

① 監督・コーチ・マネージャーの中に有資格者がいない場合

- ・大会に参加（選手だけでゲームを行う）はできるが、部長も含めてすべてのチームスタッフはベンチに入ることにはできない。
- ② 資格を有する選手が監督・コーチ・マネージャーいずれかのスタッフを兼任する場合
 - ・当該選手をベンチスタッフとして事前にエントリーの上、チームスタッフはベンチに入ることができる。
- ③ 試合開始時（トスのとき）に有資格者が不在の場合
 - ・すべてのチームスタッフはベンチに入ることにはできない。もし、試合の途中で有資格者が会場入りした場合、その時点からスタッフ全員がベンチに入ることができる。監督の権利は、その時点から有効となるが、審判にベンチ入りの旨を伝え、セット間等に監督は記録用紙へサインをすることとなる。
- ④ 試合途中で有資格者が退席する場合
 - ・残りのスタッフが当該試合に限りベンチに残ることはできるが、退席後の監督権は消滅する。
 - ・例え選手に有資格者がいたとしても、ベンチスタッフ登録していなければ同様である。

（４）チームより棄権の申し出があった場合の措置

- ① グループ戦前に申し出があった場合
 - ・当該チームがかかわる２試合を棄権扱いとして行わず、残りの１試合のみを行うことを基本とする。
- ② トーナメント戦抽選前に申し出があった場合
 - ・トーナメントの最後のシード順の位置を空位とし、予定より１チーム少ないチーム数で抽選を行う。その場合、試合順の変更等について周知を図るようにする。

（５）６人制コートの監督制限ラインについて

全国大会等において、テレビ放映や特設コートで行う場合は、正規の取り扱い（破線）とする。それ以外については、状況に応じて実線で引いても構わない。

（６）９人制コートの「監督制限ライン」の廃止、および「選手交代ゾーン」の新設について

2020年度ルール修・改正により、9人制コートの「監督制限ライン」は廃止されます。

「それぞれのコートに、サイドラインから外側に20cm間隔で、長さ15cmの5本のラインをコート中央から3mの位置になるように引く。選手交代ゾーンは、この5本のラインの間で、サイドラインの外側からフリーゾーンの端までとする。

（７）自然災害等によるチームの遅参が想定される場合の措置について

直ちに没収試合の措置をとるようなことはなく、大会委員長、審判委員長、競技委員長の３者で協議の上、当該チームが少しでも大会に参加できるように考慮してください。（試合順や開始時刻の変更等の工夫）

ただし、代表者会議において参加チームおよび役員に周知し、了解を得てください。

（８）男女同一大会でのベンチスタッフの取り扱いについて

男女同一大会（大会委員長、審判委員長、競技委員長等の主要役員が単独（同一）の場合）においては、スタッフ（監督、コーチ、マネージャー、トレーナー等）であっても男女両チームに名前を記載することはできません。（ただし部長についてのみ、両チームに名前を記載することを認めます。）

（９）ユニフォーム（ゲームシャツ）のイン、アウトについて

大会を主催する各連盟の規定に準じた運用を基本としてください。

特に定めがない場合は、試合前に審判員がチーム代表者に確認し、チームからの申告に応じて運用してください（チームで統一させる）。ただし、運用方法については代表者会議で事前通告をしてください。